

アルコール専門医療と 一般医療の連携

四日市での実践から見えること

四日市アルコールと健康を考えるネットワーク
片岡千都子

三重県の連携医療のあゆみ

1996年 三重県アルコール関連疾患研究会発足

1998年 四日市で総合病院と専門病院の連携開始

一般病院で「アルコールと健康を考える集い」の開催

2008年 市内の3総合病院への広がり



2009年 地域関係機関を含めたネットワークへ

疾患の理解

内精併診

医師会等の関係
機関との連携

早期発見

チーム医療

…などが実現

ネットワーク活動の4本柱

市民向け

- ・アルコールと健康を考える集い

専門職向け

- ・講演会、シンポジウム、多機関連携事例検討会

介入ツールの作成

- ・啓発ポスター
- ・アルコールの自己診断チェック
- ・治療・相談機関一覧
- ・疾患別啓発リーフレット
- ・SBIRTの進め方(指導者用)、お酒の飲み方チェック

ネットワーク会議(今年度の主課題)

- ・警察署との連携推進・アルコール救急マニュアル改訂
- ・高齢者向け対応マニュアル改訂・事例検討会等

アルコールと健康を考える集い

(1998年～現在)

- ・ 総合病院で、アルコール専門機関の協力により開催
- ・ 内容：
 - ・ 開催病院医師によるアルコール関連疾患、
専門医によるアルコール依存症等総合的解説
 - ・ 体験交流 ・ 個別相談など
- ・ 自己管理の必要な慢性疾患の患者学習会の一環

一般医療機関に潜むアルコール関連疾患の
早期発見と専門治療への導入

顔の見える

専門医療と一般医療の連携で安心！

多機関連携事例検討会

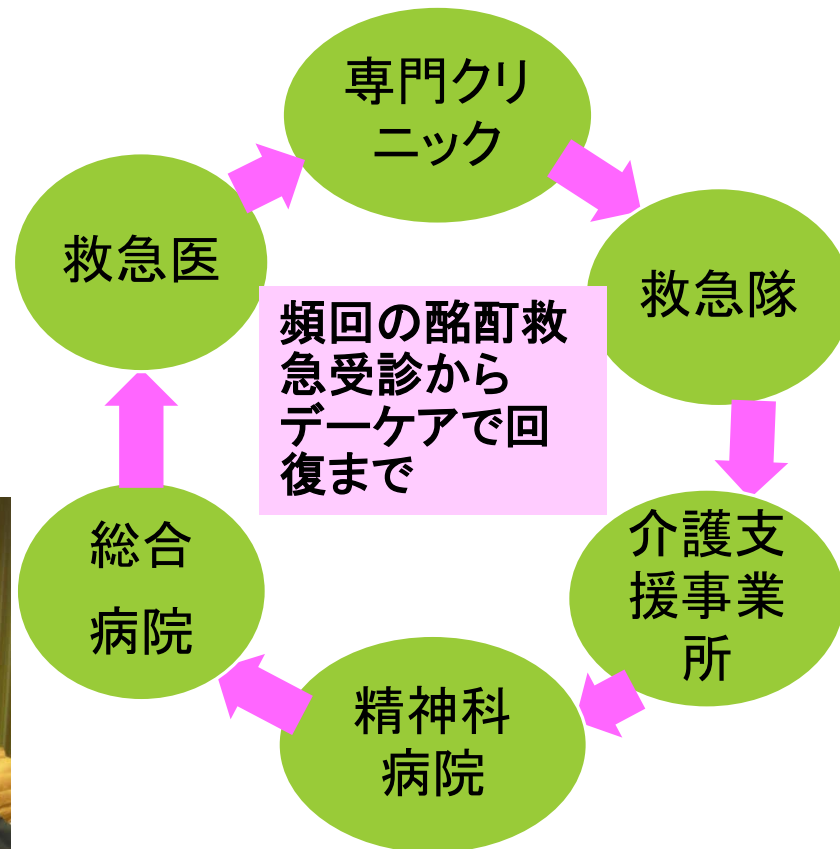
2014.3.6

目で見える連携モデルの提示

- ・関わった全ての機関が順次報告
- ・事前の準備中にも連携が進んだ
- ・他機関の対応や連携の様子がよく分かったと好評
- ・その後、個別の検討機会が増加



3/02/2015



ネットワークで作成した 主なツール

ポスター

酒日酒アルコールと健康を考えるネットワーク

お酒、飲みすぎてない?

「アルコール依存症」は、お酒を飲む方なら誰でもなる可能性があります。周りの人は心配していますよ。

チェックして、おまじゆつ CAGE(ケージ)症 「CAGE」は「CAGE」症

※酒量以上の症状が現れたら?

1. 飲酒量を減らさなければならぬと感じたこと
2. 他人があなただけの飲酒を非難するので、気にさわったこと
3. 自分の飲酒について、悪いと申し訳ないと感じたこと
4. 神経を痛ませたり二日酔い解消するために「酒え酒」をしたこと

※酒量以上の症状が現れたら「アルコール依存症」の可能性があります。

かかりつけ医に相談しましょう

かかりつけ医がない場合は下記にご相談ください

四日市アルコールと健康を考えるネットワーク

| | |
|--------------------|--------------|
| 四日市医師会 事務局 | 059-352-9117 |
| 三重県立総合医療センター 地域連携室 | 059-345-2321 |
| 市立四日市病院 サルビア | 059-354-1111 |
| 四日市社会保険病棟 すずらん | 059-331-2000 |

あなたの飲み方は大丈夫? アルコールの自己診断チェック

お酒の飲みすぎは、おなら、お腹痛、嘔吐、めまい、頭痛、集中力低下、睡眠障害、精神的な不安定さ、下痢、便秘、肝臓病、糖尿病、高血圧、脂質異常症、肥満、うつ病、認知症、がんのリスクを高める可能性があります。お酒の飲みすぎは、あなたの健康を脅かしています。お酒の飲みすぎを止めるために「酒え酒」をしたこと、下痢、便秘、肝臓病、糖尿病、高血圧、脂質異常症、肥満、うつ病、認知症、がんのリスクを高める可能性があります。

※酒量以上の症状が現れたら「アルコール依存症」の可能性があります。

| チェック項目 | はい | いいえ |
|----------------------------------|----|-----|
| 1. 飲酒量を減らさなければならぬと感じたこと | はい | いいえ |
| 2. 他人があなただけの飲酒を非難するので、気にさわったこと | はい | いいえ |
| 3. 自分の飲酒について、悪いと申し訳ないと感じたこと | はい | いいえ |
| 4. 神経を痛ませたり二日酔い解消するために「酒え酒」をしたこと | はい | いいえ |

※酒量以上の症状が現れたら「アルコール依存症」の可能性があります。

アルコール 自己診断 チェック



SBIRTの進め方
(指導者用・患者用)



市内等の関係機関に配布

疾患別リーフレット

アルコール救急医療への取り組み

★ 2回のアンケート調査、訪問調査 3回のシンポジウムで方向性確認

- 連携して、救急担当者の疲弊、救急医療の崩壊を防ぐ
- アルコール患者への早期介入、専門治療の導入を図る

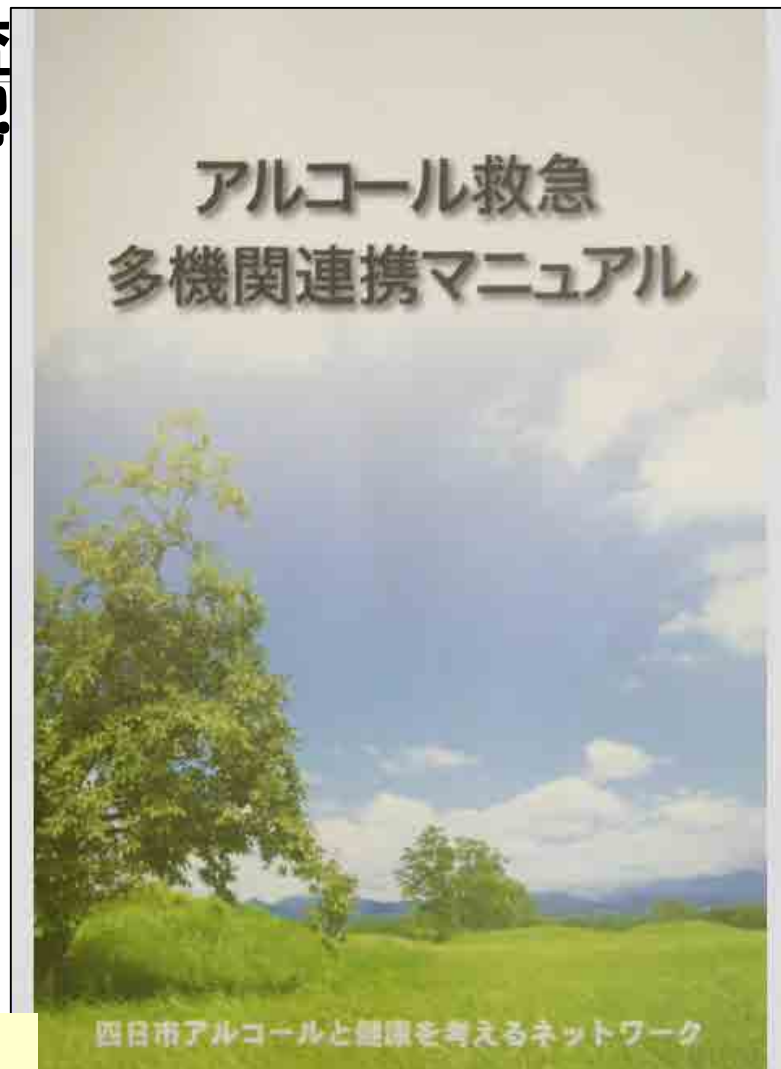


アルコール救急 多機関連携マニュアルの作成

2013年3月31日発行

2014年2月第2版発行

現在、三重県版改訂作業中



ネットワーク展開の効果

- ・アルコール健康障害対策基本法の成立
- ・マスコミの取り上げ

アルコールと健康を
考える集い
単一病院での
開催

三病院輪番開催

- ・参加者の広がり
- ・内容の広がり
- ・活動の推進力↑

保健所の参入

- ・公的認知力↑
- ・参入機関の広がり
- ・補助金の活用

医師会の参入

- ・医療機関、医師への広報力↑
- ・研修の充実
- ・患者への啓発↑

参入機関の広がり

- ・活動の広がり
- ・公的資金の活用↑
- ・参加者の増加
- ・専門治療導入数↑
- ・関係機関の理解↑
- ・市民の理解↑

各機関の課題に応じた新しい問題解決策の発見と実践が可能になった

ネットワーク運用上の課題

組織参加と個人
参加の混在

機関の業務か
ボランティアか
不明確

組織の理解
や浸透に偏り

個人的熱意や
営為には限界が

責任体制が
不明確

広がる関連分
野に調整困難

経済基盤が
ぜい弱

補助金と寄付金
頼みの活動

不安定な
事務局運営

幸運な条件や担当者の熱意のみに左右されない
継続的・普遍的・発展的な実践の保障を！

一般医療機関における アルコール依存症の疑い患者

都立総合病院外来のCAGE2項目以上の頻度(2011年)

対象:7つの都立総合病院外来を受診した20歳以上の男女6641人

| | 全科 | 内科 | 外科 | 精神科 | 眼科 | 産婦人科 |
|----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 男性 | 21.6% | 21.3% | 24.9% | 21.3% | 21.3% | — — — |
| 女性 | 10.1% | 8.7% | 8.9% | 10.2% | 2.4% | 14.1% |
| | 泌尿器科 | 皮膚科 | 耳鼻咽喉科 | 麻酔科 | 他の部門 | |
| 男性 | 16.3% | 29.2% | 24.6% | 19.0% | 22.6% | |
| 女性 | 0.0% | 5.8% | 3.2% | 8.7% | 9.6% | |

Akazawa M etc. : Prevalence of problematic drinking among outpatients attending general hospitals in Tokyo
.日本アルコール薬物医学会雑誌,48 (5) ,300-313,2013.

アルコール依存症の早期発見、早期治療は 一般医療機関に始まり 地域ネットワークにより効果を生み出す

- 一般医療機関の受診者が多い
- 身体症状での一般医療機関の受診は抵抗が少ない
- アルコールに起因する関連疾患の重症化を回避できる
- アルコール依存症への重症化を回避できる
- 救急医療現場の混乱を回避して、適正利用が進む

効果

- 医療費の削減
- 自殺、交通事故、家庭内暴力、アダルトチルドレン等関連問題の未然防止など、社会的損失の削減

目標

- 各機関内の理解の推進と組織の充実化
- SBIRTの普及による早期介入実績の向上
- 地域の多機関連携の充実化

一般医療機関における アルコール医療対策の推進に向けて

◎早期介入、早期専門治療への取り組み(SBIRT)の態勢づくり

- ・介入システムの構築: 一般病院にアルコール医療委員会を設置し、チームによる早期介入、研修、連携会議、啓発活動等を推進する
- ・人材の養成: 医師、看護師、医療ソーシャルワーカー、臨床心理士等、SBIRTに取り組む人材の養成。参加しやすい現場研修、および認定医や認定看護師等の認定制度の実施
- ・診療報酬上の評価: 委員会設置、検査料、専門治療機関への紹介料、地域連携パス運用等への評価

◎アルコール救急の負担軽減への取り組み

- ・困難事例への多機関連携: 院内チームや関連機関の理解と協働
- ・専門治療機関との速やかな連携: 受入専門機関や専門医の増加

地域における アルコール問題対策の推進に向けて

◎自治体の行政施策としての取り組みへの期待

- ・地域の医療、保健、介護・福祉、消防、警察、職域等の関係機関との地域ネットワーク力の推進の要として
継続的・普遍的・発展的な実践を可能に！
- ・増加する高齢飲酒者に向けた介護関係機関への支援
支援態勢の充実や人材育成など
- ・偏見の是正や理解と協力に向けた市民啓発や教育
例えば、認知症のサポーター研修や自殺対策のゲートキーパー養成等の裾野を広げる取り組み